

## 筑波大学山岳科学センターキックオフシンポジウム開催報告

去る3月21日（火）午後、筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区）において、筑波大学山岳科学センターキックオフシンポジウムが開催されました。

筑波大学生命環境系菅平高原実験センターと同農林技術センター演習林部門は本年4月1日より、統合により、新たに「筑波大学山岳科学センター」として発足致します。この新センターをスタートするにあたり、関係諸氏の方々にご参集頂き、新センターを周知頂くことを趣旨として開催されたものです。

シンポジウムは三明康郎副学長（研究担当）による開会の挨拶で開幕し、松本宏生命環境系長から経緯に関する挨拶があった後に、石田健一郎山岳科学センター開設準備室長より、新センターの趣旨や概要についての説明がなされました。

続いて、来賓としてお越し頂きました5名の方々、本郷浩二様（林野庁国有林野部長）、沢田治雄様（森林総合研究所理事長）、岡本光之様（環境省自然環境局国立公園課長）、畠山史郎様（富士山測候所を活用する会理事長）、磯野剛太様（全国山の日協議会理事長）より、新センターに向けての数々の期待や抱負、さらに、力強い激励のお言葉を多数賜りました。

休憩の後、新センターの4名の気鋭の教員より、山岳科学に関わる多様な研究紹介がありました。即ち、菅平高原実験センター（山理解部門所属予定）田中健太准教授「山の秩序と植物の進化」、地球環境科学専攻（山理解部門所属予定）池田 敦准教授「山の理解へ、地形学からのアプローチ」、農林技術センター井川演習林（山管理部門所属予定）山川陽祐助教「土砂災害の予測に向けた取り組み」、生物圏資源科学専攻（山活用部門所属予定）立花 敏准教授「山岳域における持続可能な森林管理と森林・木材利用－人文・社会科学分野－」の4演題です。質疑応答も交わされ、多岐に渡る分野から総合的に山岳を捉えていこうという本センターの目指そうとするところに大きな期待が寄せられました。

最後に、沼田 治生命環境科学研究科長より、閉会の挨拶として、この10年にわたる新センター開設への長い道のりと、それを踏まえたセンターの将来に向けた決意が述べられて、盛況の裡にシンポジウム閉幕となりました。

また、時間の許す方々は、こののち、茗渓会館にて懇親会に参加され、更に活発に交流を深められました。

あいにくの雨模様ではありましたが、この日、東京都内ではサクラの開花宣言がなされ、年度末のご多忙の中、81名もの方々が、ご出席を下さいました。官公庁、NPO法人のご来賓の方々をはじめ、本センター設立の趣旨にご賛同下さり関心をお寄せ下さいました方々、学外、学内の教職員、学生の皆さん、誠に有難うございました。今後とも、新センターをどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



三明康郎副学長 開会のご挨拶



松本 宏生命環境系長 ご挨拶



石田健一郎山岳科学センター開設準備室長 新センターの概要説明



ご来賓 本郷浩二林野庁国有林野部長 ご挨拶



ご来賓 沢田治雄森林総合研究所理事長 ご挨拶



ご来賓 岡本光之環境省自然環境局国立公園課長 ご挨拶



ご来賓 畠山史郎富士山測候所を活用する会理事長 ご挨拶



ご来賓 磯野剛太全国山の日協議会理事長 ご挨拶



菅平高原実験センター（山理解部門）田中健太准教授 研究紹介



地球環境科学専攻（山理解部門）池田 敦准教授 研究紹介



農林技術センター井川演習林（山管理部門）山川陽祐助教 研究紹介



生物圏資源科学専攻（山活用部門）立花 敏准教授 研究紹介



沼田 治生命環境科学研究所科長 閉会の挨拶



集合写真



会場の様子



懇親会の様子